

2011年6月27日

## 世界で最も有名なヒルクライムレース ヨコハマタイヤ装着車が2年連続で電気自動車の最速記録を更新

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は「チーム・ヨコハマ・EV チャレンジ」と称して電気自動車（EV）で参戦した「2011 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムレース」において、2年連続で電気自動車の最速記録更新を成し遂げた。記録は昨年のタイムを57秒短縮した12分20秒084。レースは6月26日にアメリカ・コロラド州で開催された。

今回、タイヤは当社の環境タイヤブランド「BluEarth（ブルーアース）」のプロトタイプを装着。同タイヤは最新の環境技術を採用して低燃費性能を高めながら、グリップ性能も高いレベルで実現しており、ターマック（舗装路）やグラベル（未舗装路）など様々な路面が混在するコースにおいて安定的な走りを強力にサポートした。マシンは三洋電機（株）製リチウムイオンバッテリーと ACP 社（米国）製交流モーターを搭載した最新モデルを使用。ドライバーは世界的なオフロードレースで活躍する埴郁夫氏が務めた。横浜ゴムは「走る喜びと環境との調和」、「電気自動車用タイヤの研究開発」を目的として同レースに3年連続で参戦している。

今年89回目を迎える「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」は世界で最も有名なヒルクライムレースで別名「雲に向かうレース」と呼ばれている。標高4,301mのパイクスピークを舞台にスタート地点から頂上までおよそ20kmを一気に駆け上がり、そのタイムを競う。



歴代最速記録でゴールしたEVレーシングカー

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：菊地  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570